



12月10日(火)

## 貧しさが私を変える

聖書朗読 申命15：7～11

貧しい者が国のうちから絶えることはないであろうから、私はあなたに命じて言う。  
…必ずあなたの手を開かなければならない。

申命 15：11

私は地元の慈善団体で働くと言う恵みが与えられています。そこで接する人と言えば、心に傷を負った人、経済的に苦しんでいる人、ホームレスの人、薬物中毒の人、重罪を犯した人、あるいは、自らの責任ではないのに不安な生活を強いられている家族などです。ここでの私たちの目指すところは、彼らに手を差し伸べて自立をサポートしつつ、イエス・キリストにある希望を伝えることです。

私はこの働きを通して気付かされたことがあります。貧困や、ホームレス、心に傷を負った人をこの社会から無くすことにも増して人生で重要なのは、そうした誰からの助けもない人、ホームレスの人あるいは心に傷を負った人によって、自分たちがいかに変えられるかということです。

クラッパーという楽器は、硬木などで作られた板をうち当てて美しい音色をこだまする様に奏でる楽器ですが、それと同じように、私たちも互いのいのちに触れ合い美しい音色を奏でよう造られています。心が傷付き打ちひしがれた人と出会い、彼らを励まそうとするとき、私たちが彼らに福音を宣べ伝えることで、私たち自身も心の広い者とされるでしょう。

讃美歌 221

祈り 親愛なる主よ。望みも持てない人に会うとき、私たちが手を差し伸べることをためらうことなく、語る言葉と取るべき行動を私たちに示し、イエス様にある希望をもたらすことが出来るようお導きください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

エリン・マセンドリー  
テキサス州 ミルサップ

12月11日(水)

## 赤いひも

聖書朗読 ヨシュア 2：12～21

ラハブは言った。「おことばどおりにいたしましょう。」こうして、彼女は彼らを送り出したので、彼らは去った。そして彼女は窓に赤いひもを結んだ。

ヨシュア 2：21

私たちは、シンボルやトレードマーク、イメージなどによって人や物を識別することがあります。マクドナルドの黄金のアーチやスポーツチームのロゴなど、世界どこでもすぐに分かるマークがあるでしょう。

ラハブとエリコ攻略のお話では、安全に守られる家を識別する目印として赤いひもが用いられています。ラハブはイスラエルの斥候を匿しました。その見返りとして、彼女とその家族に対し、窓に赤いひもを結んだ家の中に留まっている限り安全に守られことを、イスラエルの人々は約束します。

この出来事の前にも、目印が用いられています。イスラエルの民がエジプトから逃れる際に用いられたもので、過ぎ越しの祭りの子羊の血を門口に塗った家の中に居る者たちは安全に守られるというものでした。

私たちは毎週、新約聖書の最も大切な象徴の一つである主の晩餐に与ります。これは、イエス様が死んで葬られそして甦られたことを、クリスチャンが覚えるものであり、これに与る者は、イエス様の血によってその罪が拭い去られたということを表すものです。主を覚えましょう。

讃美歌 205

祈り 父よ。私たちがあなた様の民とされたことを、日々この世に示すことができるようお導きください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

フィリップ・イーマン  
サウスカロライナ州 イルモ

12月12日(木)

## 堂々巡り

聖書朗読 ヨシュア 6:2~5

主よ。私は知っています。人間の道は、その人によるのではなく、歩くことも、その歩みを確かにすることも、人によるのではないことを。

エレミヤ 10:23

私が子供の頃フラフープが流行っていました。私は腰の周りでフープを回す名人と言われるほど得意で、ある夏、近所の人に、庭でその腕前を見せて欲しいと言われ、フラフープの腕前を披露しました。彼らが時間を測ったところ、なんと私は45分間もフラフープを回し続けていたようです。

皆さんは、堂々巡りの会話を聞くことがありますか。お互い延々と自分の主張を続け、同じ事を言い続け、自分の立場を繰り返し、結局解決を見出すことが出来ないような会話です。私は、実りのない会話や、主張を長年続け、ただ車輪をぐるぐる回しているようなやり取りを聞くことがあります。時間をかけて議論し、お互い一致するように見えて、結局、フラフープのようにぐるぐる回るだけで、何も成し遂げていないということもしばしばあります。

神様はヨシュアに、エリコ攻略の際、やや込み入った事をお命じになります。ヨシュアと戦士たちは、1日に1度、6日の間町の周囲を回り、7日目には7人の祭司とともに7度エリコの町を回り、角笛を吹き、民はみな大声でときの声を挙げるというものです。そのとき町の壁は崩れ、彼らは町を攻め取ります。神様のお命じになることは私たち、ご自身の民にとって良いもので、必ず意味のあるものなのです。

讚美歌 291

祈り 親愛なるお父様。私は最も高いところまで登り、ほんのかすかでもご栄光の光を見ることを願います。主よ、天に昇るまでの間、私を高みへと引き上げてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

カーサ・ウィンザー  
カリフォルニア州 サンディエゴ

12月13日(金)

## 御霊に満たされた者に倣って

聖書朗読 士師 4:1~14

あなたがたは、バプテスマによってキリストとともに葬られ、また、キリストを死者の中からよみがえらせた神の力を信じる信仰によって、キリストとともによみがえらされたのです。

コロサイ 2:12

士師記に記されている時代、神様は、さばきつかさによってイスラエルの民を治めておられました。ご自分の民の戦士たちを導かれるとき、男性を用いておられましたが、今日の聖書箇所では御霊に満たされた信仰の篤い2人の女性を用いて、イスラエルの民を勝利へと導かれます。

この女性の1人はデボラです。進軍せよという神様のご命令をバラクに伝えると、彼はそのご命令に従うことをためらい、デボラに「もしそれが神の真のみこころならば、あなたも私たちとともに命をかけてください。」と言います。

けれどもこのことでバラクを責めないでください。この当時彼らは、何年もの間絶望的な状況にあり虐げられていましたが、神様は沈黙を守っておられました。そのような状況にあって一步を踏み出すには、バラク以上に深い信仰が求められるものです。デボラはこの時、さばきつかさの座を離れ、鉄の戦車900両とシセラの強固な陣営に戦いを挑むこととなります。デボラには、神様が彼女の陣営に偉大な勝利をもたらしてくださるという、神様への信仰がありました。

そしてもう一人の女性は、ヘベルの妻ヤエルです。彼女は、神様に力を与えられ、杭をシセラに打ち込むことで、神様の軍勢を勝利に導いたのです。

今日、些細なことで、神様への思いが乱されることのないようにしたいと思います。不可能と思える状況や、男性だから、女性だから、あるいは、若いから、中年だから、年老いているからと言った事を理由に、神様のご意志から離れることのないようにしたいと思います。

讚美歌 448

祈り 主なる全能の神様。あなた様の御力とあなた様の備えを褒め称えます。信仰によってあなた様に従うために今日必要なものを願い求めます。  
イエス様のお名前によって。アーメン。

ビル・アドコックス  
オクラホマ州 ベサニー

12月14日(土)

## 山をも動かす信仰

聖書朗読 Iサムエル 17:38~49

信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

ヘブル 11:1

ペリシテ人の軍隊がイスラエルに攻めてきました。谷を隔てて丘の一方にペリシテ人、対する丘にイスラエルが戦の陣をおいて相対しています。ペリシテ人には特別な武器がありました。ゴリアテです。青銅のかぶとをかぶったこのゴリアテは身体も大きく、力も強く、相手を怯えさせ、これまでに幾度も戦に勝利してきた戦士です。彼は40日の間イスラエルをなじり挑発し、サウルの陣営を恐れさせていました。

ここにダビデが登場します。彼は羊飼いで、軍隊に加わるには若すぎるほどの年齢の美しい少年でした。ダビデは、よろいかぶとを着させられましたが、慣れないため動きにくいと言ってそれを脱ぎ捨てます。彼の武具はよろいかぶとではなく、神様への信仰だったのです。ダビデは、重い武具の代わりに、羊飼いの道具である、石一握りと石投げを持って戦いに挑みます。そしてゴリアテが殺しにかかって来た時、ダビデは攻撃しようと、その巨人に勢いよく向かって行きました。

ダビデの信仰はとても強く、神様の力によってゴリアテに打ち勝つことが出来るのと知っていたのです。

私たちも、人生におけるゴリアテのような試練に出遭ったとき、それに立ち向かうために、神様の偉大な御力を信じるダビデのような信仰が必要です。神様はそのような御力を与えてくださいます。

讃美歌 270

祈り 天のお父様。新たな一日を迎えるとき、「主よ、あなた様とともにあれば、出来ないことは何もない」という古くから知られた祈りを心に留めさせてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

クリスティン・アダムズ  
ニューメキシコ州 ホブス

12月15日(日)

## 真の友

聖書朗読 Iサムエル 20:12~23

滅びに至らせる友人たちもあれば、兄弟よりも親密な者もいる。

箴言 18:24

かつてのフットボールコーチ、ペパー・ロジャースは、批判を多く浴びたあるシーズンを振り返ってこう語っていました。「うちの犬だけが私のための真の友。妻に、『彼がいてくれて良かった。人には少なくとも2人の親友が必要だ。』と話す時、彼女はもう一匹犬を連れて来てくれました。』

冗談はさておき、私も親しい友がいかに大切かという事を知っています。皆さんも試練に遭ったときに傍にいてくれた友を思い浮かべる事が出来るでしょう。ダビデとヨナタンの友情はまさにそのような真の友情でした。ヨナタンは父サウルの王位を受け継ぐ者でしたが、彼は父親のような嫉妬心を抱いてはいませんでした。ダビデの命が危うくなった時、ヨナタンはダビデにその危険を知らせる手立てを考えるほどでした。

皆さんの周りにも、誰か友を必要としている人がいませんか。今日、その人に言葉を掛けたり、何かしてあげたりすることで、助けてあげられることを何かしてみませんか。

讃美歌 312

祈り 親愛なる主よ。私たちはいともたやすく自己中心的になってしまいます。どうか、自分から外に目を向け、周りの人に愛と友情を示すすべを見出すことが出来るようお導きください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

アンドリュー・フィリップス  
テネシー州 コロンビア